

福岡女子大学
同窓会

第98号



筑紫海会会報



事務局 福岡女子大学地域連携センター内 TEL・FAX (092) 692-3194
ホームページ - <http://www.fwu.ac.jp/tukusimikai/> または「筑紫海会」で検索

会長挨拶 筑紫海会会長 江島 玲子（大21食）



コロナ禍の昨今、会員の皆様はどのようにお過ごしでしょうか。日頃から同窓会活動へのご理解ご協力を頂き、感謝申し上げます。さて、昨年度は、大学と

向井新理事長・学長をお迎えして



ご紹介

向井 剛（むかいつよし）氏

大阪府出身

昭和27年生まれ

専門分野

中世英語英文学

主な職歴

平成15年 福岡女子大学

文学部専任教授

梶山理事長・学長のご退任に寄せて

任期満了に伴い、梶山千里理事長・学長が、令和3年3月末日をもって、退任なさいました。

梶山学長におかれましては、10年の長きに亘り、福岡女子大学の発展に寄与されました。

平成23年（2011）学長就任と同時に、従来の制度を改め、国際文学部・3学科の新生福岡女子大学が誕生しました。

建学の精神として「国際感覚を備えた女性リーダー

同窓会について、会長選考に端を発した事務局退去の件でいっそう考えさせられた1年でもありました。

大学にとって同窓会はどういう存在なのか？「同窓会と大学は、車の両輪」という表現をよく聞きます。車のどちらかが大きくても、小さくても、車はなめらかに運行できません。

平成23年 福岡女子大学

副学長兼文学部長

平成25年 福岡女子大学

国際文学部部長

平成29年 四国大学文学部

特任教授

令和2年 公立大学法人

福岡女子大学

学長特別補佐

令和3年 公立大学法人

福岡女子大学

理事長・学長就任

今年度 4月1日、向井

剛先生が理事長・学長に就

任されました。心よりお祝

いの育成」を掲げ、5つの行

動指針が具体的に示されま

した。「獨創性・創造性は、

地域や社会、身の回りの変

化を敏感に感じ取る心から

であったり、「挨拶、心遣い、

恥を知った節度ある行動の

大切さ」であったり、英語

教育のみならず、人として

あるべき姿をお示しになっ

た姿勢に感銘を覚えます。

また、「国際学友寮など

しこの全寮制生活」など、

3つの顕著な特色を兼ね備

え、教育レベルの高い大

学に押し上げられました。

数々のご功労に敬意を表

し、深く感謝申し上げます。

令和5年（2023）、

福岡女子大学は、福岡県

立女子専門学校開校以来、

創立100周年を迎えます。

一万四千人の同窓生にとり

まして、大学の発展はこの

上ない喜びであり、感謝に

堪えません。また、100周年

タイヤの空気が違ってても安全な運行は不可能です。経営規模や組織の点から、同窓会は大学にはとうてい及びません。それでも両輪となり得るのでしょうか。同窓会は、同窓生の歴史を蓄積しています。大学教育のありさまを社会人として具現化し、自己実現や社会貢献を行う姿を発信し続けることが役割ではないかと考えています。このために、私たちはその時々々に遭遇した事態に対し、おかし

い申しあげます。

先生のお名前を懐かしく耳にされた同窓生も多いかと存じます。先生は今年度入学式の式辞の中で「私は、福女大をアカデミック職能集団であるギルドと考えています。西洋中世のギルドの会員には資格が必要であり、入会を認められた会員には、特権が付与されました。ここにプライドが生まれます。そこで身につけた職能を社会のために発揮する義務が生じます」と、大

学をギルドに喩えられ、さらに、「同じギルド仲間には、終生協力を惜しまず互いに

いことはおかしいと、きちんと発信する姿を見せることも大切だと思います。

昨年度は緊急事態宣言の対応で、理事会延期や書面による理事会の実施、総会延期後の書面議決による総会実施等、折々で、どのような対応を行えば、安心安全に皆様の意思確認ができるかを検討し遂行いたしました。

11月には書面による総会を実施し、多くのご返事を頂き大変感謝申し上げます。

支え合う」ことの重要性を

入学生にむけ「たとえ一滴の滴であろうとも、流れ込むのは脈々と水をたたえた百年の歴史を持つ大河である」ともお話をされています。

私も同窓生もまたギルド仲間として共に活動することのできる、大学や学生と支え合う、よりよい関係が築けますよう、改めて思いをこめて、致しました。今後のご活躍を心から祈念し、ここに紹介いたします。

最後にになりましたが、梶山千里理事長・学長のご健康とますますのご活躍を祈念申し上げます。

創立100周年記念事業
寄附金

3月末現在 48,128,000円

ご協力に感謝申し上げます

振込用紙を同封しております。
詳しくは、振込用紙裏面をご覧ください。

令和3年度
筑紫海会総会（書面議決）のお知らせ

令和3年度筑紫海会総会を昨年度に続き、書面議決にて実施いたしたくご案内申し上げます。総会の開催に向け、慎重に検討を重ねてまいりましたが、コロナの状況に鑑み、会員の皆様の命を守ることを第一に考え、この結論にいたしました。

※当番学年

令和4年度 大学37, 38, 57, 58, 66回生

令和5年度 大学38, 39, 59, 60, 67回生

ご予定いただきました会員の皆様には、ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承賜りますようお願いいたします。つきましては、ご理解の上、別紙の「令和2年度書面議決意見集約書」並びに「令和3年度総会資料」をご覧いただき、確認の上ご回答をくださいますよう、よろしくお願いいたします。

同窓会への寄附

3月末現在、12万9千円の寄附がありました。

ご協力に心から感謝申し上げます。

す。この結果につきまして、議案に対する結果のみをホームページにてご報告させていただきます。提出いたしました各議案に対し、賛成多数にて同窓会の方針を承認いただきました。ありがとうございます。

先日、テレビで福岡女子大附属図書館が映っていました。画面を見た瞬間、女子大の図書館だ！と惹き付けられました。木造建築が珍しく、美しいとの嬉しい話題でした。

世界の中に新型コロナウイルスが蔓延し、私たちの生活は一変しました。マスクの着用。3つの密（密接・密集・密閉）の回避、手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒の励行。飛沫を飛ばさないなど、新しい生活様式が求められた1年が経過しようとしています。

自由には会えないという厄介なウィルスです。

「知らぬ間に他の人に感染させるのではないか。」と心配し、うかつなことができず、我慢をすることが多くなりました。

コロナ禍で東京オリンピック・パラリンピック、成人式や各種公演、コンサート等の中止や延期を余儀なくされました。就職や進学など思うようになかった方も多かったのではないのでしょうか。パートや派遣の雇止めで生活に困窮している人の特集を見ることが多くなっています。若い人の自殺の増加も気になります。これまで努力を重ね、挑んできたことが活かせなくなったり、多々あるでしょう。でも、生きていけば必ず良いことがあると思っただけは絶たないで欲しいものです。

百年に一度の有事といわれ不安に突き落とされましたが、「ワクチン接種」の希望の灯りも見えてきました。

困難を乗り越えた先には希望の虹が架かり、みんなが幸せになれる時代がきくと来ると信じて。

波紋



川原 郁子（大27食）
北九州支部

ドキュメンタリーを本に

馬場 明子さん（大20回）



昨年古希、70歳を迎えた。エエーッ！開いた口がふさがらないほど年をとってしまった。驚きである。思い返せば48年前、女子大の掲示板に「テレビ西日本アナウンサー募集」の張紙を見たのが、全ての始まりだった。数百人の応募者の中から奇跡的に合格したが、アナウンサーとしては劣等生、何をやってもパツ

描いたものだ。作品は1997年9月に放送されたが、その直後に一本の電話を頂いた。「あなた、いい作品を作ったわねー。」恩師の目加田さくを先生からだった。「放送のお知らせもしていないのにね」と、驚いてしまった。でも嬉しかった。何しろ、卒業後20数年、初めての再会（電話で）だったのだから。

受賞がきっかけで、幾本かのドキュメンタリーを作る幸運に恵まれた。どれも思い出深いものばかりだ。

思いを託した『螢の木』

※①は、62歳の時に出版。以来、かつてテレビ取材したテーマの中から、「もう一度記録したい」と思うものを選び、再取材して収録に残すことだと心に決めていた。

のを選び、再取材して本にした。10年間で6冊……炭鉱の歴史を技術者の視点から描いた『筑豊伊加立坑物語』、九州大学の蚕の系統保存の歴史をたどった『蚕の城』、長崎の被爆者の生涯を追った『傷ついたマリア 片岡津代さんの祈り』など、どれもテレビ局時代に扱ったものだ。いわば、その遺産で現在まで歩いて来た。これらのささやかな記録が、「いつかどこかで誰かの役に立ってくれば」と願っている。

秋さらば見つづつ（へと）妹が植ゑし屋前の石竹花咲きにけるかも（巻三・四六四）



※①『螢の木』（二〇一二年未知谷）

昨年6月、福岡女子大学国際学友寮なでしこに、留学生と自宅に帰れなかった日本人学生など約110名の学生が在寮していました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、オンライン授業が始まり、大学・国・県の支援策が発表されました。が、寮生は、外出自粛やアルバイトも制限され、生活面また学習面で困難が生じている現実を知りました。そこで、同窓生として何かできないかと考え、数名（代表 薄 陽子〈大15英〉）で、6月から一年生の入寮前の8月まで、3ヶ月間支援を行いました。

食品ロス減を目指す活動のフードバンク福岡から、レトルト食品・缶詰等を、グリーンコープ生協福岡から、果物・ご飯類等を、

「美味い」と言ってもらえるのが心から嬉しい仕事です。いつもお客様のことを思いながら、心を込めて作らせていただいています。

私も、大学時代から飲み会と食事は大好きでした。ゼミ仲間と美味しい居酒屋で徹夜で飲み明かし、翌日、助教授に「酒臭い」と怒られたことを懐かしく思い出します。

大学時代から好きだった「食」は、IT業界時代、退職後の宇都宮での仕事でも縁があり、今の仕事にもつながっています。

今は、腎臓病や膵臓病の食事制限のある方、お年寄り、歯が弱い方、妊娠中のお母さん、お子さんの離乳食、お忙しいご夫婦等々、お客様のニーズに応じたお惣菜を、北は山形から南は熊本までお届けしています。

「美味い」と言ってもらえるのが心から嬉しい仕事です。いつもお客様のことを思いながら、心を込めて作らせていただいています。

私も、大学時代から飲み会と食事は大好きでした。ゼミ仲間と美味しい居酒屋で徹夜で飲み明かし、翌日、助教授に「酒臭い」と怒られたことを懐かしく思い出します。

大学時代から好きだった「食」は、IT業界時代、退職後の宇都宮での仕事でも縁があり、今の仕事にもつながっています。

今は、腎臓病や膵臓病の食事制限のある方、お年寄り、歯が弱い方、妊娠中のお母さん、お子さんの離乳食、お忙しいご夫婦等々、お客様のニーズに応じたお惣菜を、北は山形から南は熊本までお届けしています。

「美味い」と言ってもらえるのが心から嬉しい仕事です。いつもお客様のことを思いながら、心を込めて作らせていただいています。

私も、大学時代から飲み会と食事は大好きでした。ゼミ仲間と美味しい居酒屋で徹夜で飲み明かし、翌日、助教授に「酒臭い」と怒られたことを懐かしく思い出します。

料理の知識を得ることができ、食に関わって活躍されている方のご縁も多々でき、起業しやすい環境にありました。

起業のきっかけは母でした。実家の福岡に80代後半の母が一人暮らししていました。時々帰省しますが、実家に帰って冷蔵庫を開けると、しなびたレンコンと人参しか入っておらず、冷蔵庫の中はがらんどうという状態が続きました。何を食べているのか聞いたですと、「毎食自分で作って食べている」と言うのですが、

料理の知識を得ることができ、食に関わって活躍されている方のご縁も多々でき、起業しやすい環境にありました。

起業のきっかけは母でした。実家の福岡に80代後半の母が一人暮らししていました。時々帰省しますが、実家に帰って冷蔵庫を開けると、しなびたレンコンと人参しか入っておらず、冷蔵庫の中はがらんどうという状態が続きました。何を食べているのか聞いたですと、「毎食自分で作って食べている」と言うのですが、

料理の知識を得ることができ、食に関わって活躍されている方のご縁も多々でき、起業しやすい環境にありました。

起業のきっかけは母でした。実家の福岡に80代後半の母が一人暮らししていました。時々帰省しますが、実家に帰って冷蔵庫を開けると、しなびたレンコンと人参しか入っておらず、冷蔵庫の中はがらんどうという状態が続きました。何を食べているのか聞いたですと、「毎食自分で作って食べている」と言うのですが、

料理の知識を得ることができ、食に関わって活躍されている方のご縁も多々でき、起業しやすい環境にありました。

起業のきっかけは母でした。実家の福岡に80代後半の母が一人暮らししていました。時々帰省しますが、実家に帰って冷蔵庫を開けると、しなびたレンコンと人参しか入っておらず、冷蔵庫の中はがらんどうという状態が続きました。何を食べているのか聞いたですと、「毎食自分で作って食べている」と言うのですが、

料理の知識を得ることができ、食に関わって活躍されている方のご縁も多々でき、起業しやすい環境にありました。

起業のきっかけは母でした。実家の福岡に80代後半の母が一人暮らししていました。時々帰省しますが、実家に帰って冷蔵庫を開けると、しなびたレンコンと人参しか入っておらず、冷蔵庫の中はがらんどうという状態が続きました。何を食べているのか聞いたですと、「毎食自分で作って食べている」と言うのですが、

料理の知識を得ることができ、食に関わって活躍されている方のご縁も多々でき、起業しやすい環境にありました。

起業のきっかけは母でした。実家の福岡に80代後半の母が一人暮らししていました。時々帰省しますが、実家に帰って冷蔵庫を開けると、しなびたレンコンと人参しか入っておらず、冷蔵庫の中はがらんどうという状態が続きました。何を食べているのか聞いたですと、「毎食自分で作って食べている」と言うのですが、

料理の知識を得ることができ、食に関わって活躍されている方のご縁も多々でき、起業しやすい環境にありました。

起業のきっかけは母でした。実家の福岡に80代後半の母が一人暮らししていました。時々帰省しますが、実家に帰って冷蔵庫を開けると、しなびたレンコンと人参しか入っておらず、冷蔵庫の中はがらんどうという状態が続きました。何を食べているのか聞いたですと、「毎食自分で作って食べている」と言うのですが、

料理の知識を得ることができ、食に関わって活躍されている方のご縁も多々でき、起業しやすい環境にありました。

起業のきっかけは母でした。実家の福岡に80代後半の母が一人暮らししていました。時々帰省しますが、実家に帰って冷蔵庫を開けると、しなびたレンコンと人参しか入っておらず、冷蔵庫の中はがらんどうという状態が続きました。何を食べているのか聞いたですと、「毎食自分で作って食べている」と言うのですが、

料理の知識を得ることができ、食に関わって活躍されている方のご縁も多々でき、起業しやすい環境にありました。

起業のきっかけは母でした。実家の福岡に80代後半の母が一人暮らししていました。時々帰省しますが、実家に帰って冷蔵庫を開けると、しなびたレンコンと人参しか入っておらず、冷蔵庫の中はがらんどうという状態が続きました。何を食べているのか聞いたですと、「毎食自分で作って食べている」と言うのですが、

料理の知識を得ることができ、食に関わって活躍されている方のご縁も多々でき、起業しやすい環境にありました。

起業のきっかけは母でした。実家の福岡に80代後半の母が一人暮らししていました。時々帰省しますが、実家に帰って冷蔵庫を開けると、しなびたレンコンと人参しか入っておらず、冷蔵庫の中はがらんどうという状態が続きました。何を食べているのか聞いたですと、「毎食自分で作って食べている」と言うのですが、

寮生への支援活動を終えて

寮生支援グループ 越智 咲子（大17食）

福岡県学校給食会から、乾麺の提供や、その他同窓生やボランティア団体からの協力も得、8回の食料と、280枚のマスク（不織布・手作り）の支援を行いました。活動終了後、寮生から「食堂閉鎖のため自炊が必須となり、大変助かりました。お陰で、今まで通り勉学に励むことができています。栄養・健康面も考慮していただき本当に感謝しています。」との声を聞き、このコロナ禍でも、寮生が勉学等に励むことができるよう、手助けをしたと思うと、始めたこの支援活動の趣旨が、ささやかでしたが、寮生に伝わったと思いました。

最後にこの活動にご協力頂いた大学学生支援センターと寮関係者、同窓生に心より感謝申し上げます。

「美味い」と言ってもらえるのが心から嬉しい仕事です。いつもお客様のことを思いながら、心を込めて作らせていただいています。

私も、大学時代から飲み会と食事は大好きでした。ゼミ仲間と美味しい居酒屋で徹夜で飲み明かし、翌日、助教授に「酒臭い」と怒られたことを懐かしく思い出します。

大学時代から好きだった「食」は、IT業界時代、退職後の宇都宮での仕事でも縁があり、今の仕事にもつながっています。

今は、腎臓病や膵臓病の食事制限のある方、お年寄り、歯が弱い方、妊娠中のお母さん、お子さんの離乳食、お忙しいご夫婦等々、お客様のニーズに応じたお惣菜を、北は山形から南は熊本までお届けしています。

「美味い」と言ってもらえるのが心から嬉しい仕事です。いつもお客様のことを思いながら、心を込めて作らせていただいています。

私も、大学時代から飲み会と食事は大好きでした。ゼミ仲間と美味しい居酒屋で徹夜で飲み明かし、翌日、助教授に「酒臭い」と怒られたことを懐かしく思い出します。

大学時代から好きだった「食」は、IT業界時代、退職後の宇都宮での仕事でも縁があり、今の仕事にもつながっています。

今は、腎臓病や膵臓病の食事制限のある方、お年寄り、歯が弱い方、妊娠中のお母さん、お子さんの離乳食、お忙しいご夫婦等々、お客様のニーズに応じたお惣菜を、北は山形から南は熊本までお届けしています。

「美味い」と言ってもらえるのが心から嬉しい仕事です。いつもお客様のことを思いながら、心を込めて作らせていただいています。

私も、大学時代から飲み会と食事は大好きでした。ゼミ仲間と美味しい居酒屋で徹夜で飲み明かし、翌日、助教授に「酒臭い」と怒られたことを懐かしく思い出します。

「美味い」と言ってもらえるのが心から嬉しい仕事です。いつもお客様のことを思いながら、心を込めて作らせていただいています。

私も、大学時代から飲み会と食事は大好きでした。ゼミ仲間と美味しい居酒屋で徹夜で飲み明かし、翌日、助教授に「酒臭い」と怒られたことを懐かしく思い出します。

大学時代から好きだった「食」は、IT業界時代、退職後の宇都宮での仕事でも縁があり、今の仕事にもつながっています。

今は、腎臓病や膵臓病の食事制限のある方、お年寄り、歯が弱い方、妊娠中のお母さん、お子さんの離乳食、お忙しいご夫婦等々、お客様のニーズに応じたお惣菜を、北は山形から南は熊本までお届けしています。

「美味い」と言ってもらえるのが心から嬉しい仕事です。いつもお客様のことを思いながら、心を込めて作らせていただいています。

私も、大学時代から飲み会と食事は大好きでした。ゼミ仲間と美味しい居酒屋で徹夜で飲み明かし、翌日、助教授に「酒臭い」と怒られたことを懐かしく思い出します。

大学時代から好きだった「食」は、IT業界時代、退職後の宇都宮での仕事でも縁があり、今の仕事にもつながっています。

今は、腎臓病や膵臓病の食事制限のある方、お年寄り、歯が弱い方、妊娠中のお母さん、お子さんの離乳食、お忙しいご夫婦等々、お客様のニーズに応じたお惣菜を、北は山形から南は熊本までお届けしています。

「美味い」と言ってもらえるのが心から嬉しい仕事です。いつもお客様のことを思いながら、心を込めて作らせていただいています。

私も、大学時代から飲み会と食事は大好きでした。ゼミ仲間と美味しい居酒屋で徹夜で飲み明かし、翌日、助教授に「酒臭い」と怒られたことを懐かしく思い出します。



お届けおかずのいろいろ

大学卒業後、ITの仕事に27年間従事してきました。

料理の知識を得ることができ、食に関わって活躍されている方のご縁も多々でき、起業しやすい環境にありました。

起業のきっかけは母でした。実家の福岡に80代後半の母が一人暮らししていました。時々帰省しますが、実家に帰って冷蔵庫を開けると、しなびたレンコンと人参しか入っておらず、冷蔵庫の中はがらんどうという状態が続きました。何を食べているのか聞いたですと、「毎食自分で作って食べている」と言うのですが、

料理の知識を得ることができ、食に関わって活躍されている方のご縁も多々でき、起業しやすい環境にありました。

起業のきっかけは母でした。実家の福岡に80代後半の母が一人暮らししていました。時々帰省しますが、実家に帰って冷蔵庫を開けると、しなびたレンコンと人参しか入っておらず、冷蔵庫の中はがらんどうという状態が続きました。何を食べているのか聞いたですと、「毎食自分で作って食べている」と言うのですが、

料理の知識を得ることができ、食に関わって活躍されている方のご縁も多々でき、起業しやすい環境にありました。

「美味い」と言ってもらえるのが心から嬉しい仕事です。いつもお客様のことを思いながら、心を込めて作らせていただいています。

私も、大学時代から飲み会と食事は大好きでした。ゼミ仲間と美味しい居酒屋で徹夜で飲み明かし、翌日、助教授に「酒臭い」と怒られたことを懐かしく思い出します。

大学時代から好きだった「食」は、IT業界時代、退職後の宇都宮での仕事でも縁があり、今の仕事にもつながっています。